

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	インバウンド誘客推進事業
事業主体 (連絡先)	佐久市 (佐久市役所経済部観光課 Tel.0267-62-3285)
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,777,140円 (うち支援金:2,765,000円)



#### 事業内容

外国人観光客(インバウンド)誘客と地域の受け入れ体制の整備の2方面で取り組みを実施しました。

誘客の方法として、情報発信(情報サイト「楽吃購!日本(ラーチーゴー)への掲載、多言語観光パンフレットの製作)を行い佐久市のPRを行いました。

市域の受け入れの体制の整備として、有識者や関係各所を含めた横断的な組織である「佐久市インバウンド誘客推進検討委員会」を立ち上げ、事業の方針について協議しました。

また、インバウンド目線から見た佐久市の特長や観光資源等を掘り起こすために、ニーズ調査やファミトリップを実施し、地域資源の掘り起こしを行いました。



第1回ファミトリップ

#### 【目標・ねらい】

- ① 誘客による外貨の獲得(地域経済の活性化)。
- ② 地域の受け入れ体制の整備。
- ③ インバウンド目線からの佐久市の特長、ニーズの把握

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 情報発信として、1.楽吃購!日本に佐久市のページを掲載(PV数:1,597PV) 2.パンフレットの作成(10,000部)と配布を実施しました。
- ② 佐久市インバウンド誘客推進検討委員会を立ち上げ官民連携した事業展開を実施しました。
- ③ ニーズ調査のための分析調査、ファミトリップを2回実施し、在日外国人に佐久市の体験型コンテンツや食を体験しました。また第1回目では佐久長聖高等学校にAFS留学プログラムを活用して来日している留学生にも参加していただき、自身のSNSを通して情報発信をしていただきました。

#### ※自己評価【C】

【理由】自然災害等により、市民の意識付けの一番重要であるセミナーを開催することができず、市民や事業者の機運の醸成を高めることができなかった。また、インバウンド事業の認知にもつながらなかった。

#### 今後の取り組み

- 市全域で外国人観光客の誘客を実施する必要があるため、セミナーを開催、さらに興味がある、コンテンツとして有効である事業者等を対象にした勉強会、ワークショップを開催する。
- WEB施策としてページを作る、SNSの発信の場を設け、継続的に情報発信を実施する。また、市民が投稿できるシステムを構築し、市民にも参加いただき、自らの取り組みに対してのアピールする場として活用していただく。
- 軽井沢町等の周辺自治体と連携し、地域で誘客する取り組みを実施する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある